

## 復活節第2主日特祷

永遠にいます全能の神よ、あなたはキリストの死から命への過越の秘義のうちに、新しい和解の契約を打ち立てられました。どうかキリストの体である教会の交わりのうちに再び生まれた私たちが、その告白する信仰を日々の生活の中に生かすことができますように。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

## 旧約聖書（代行）使徒言行録 5章27－32節

5:27 彼らが使徒たちを引いて来て最高法院の中に立たせると、大祭司が尋問した。28 「あの名によって教えるはならないと、厳しく命じておいたではないか。それなのに、お前たちはエルサレム中に自分の教えを広め、あの男の血を流した責任を我々に負わせようとしている。」29 ペトロと使徒たちは答えた。「人に従うより、神に従うべきです。30 私たちの先祖の神は、あなたがたが木に掛けて殺したイエスを復活させられました。31 神はイスラエルを悔い改めさせ、その罪を赦すために、この方を導き手とし、救い主として、ご自分の右に上げられました。32 私たちはこのことの証人であり、また、神がご自分に従う人々にお与えになった聖霊も、そのことの証人です。」

## 詩 編 第118篇14－29節

- 14 主こそ私の力、私の歌 || 私の救いとなってくださった
- 15 歓喜と勝利の声が正しき人の天幕に響く || 「主の右の手は力を振るう
- 16 主の右の手は高く上がり || 主の右の手は力を振るう。」
- 17 私は死なずに生き長らえ || 主の業を語り伝えよう
- 18 主は私を厳しく懲らしめたが || 死に渡すことはなかった
- 19 義の城門を開けよ || 私は入って、主に感謝しよう
- 20 これこそ主の城門 || 正しき人はここに入る
- 21 あなたに感謝します || あなたは私に答え、私の救いとなってくださった
- 22 家を建てる者の捨てた石が || 隅の親石となった
- 23 これは主の業 || 私たちの目には驚くべきこと
- 24 今日こそ、主が造られた日 || これを喜び躍ろう
- 25 どうか主よ、救ってください || どうか主よ、栄えをもたらしてください
- 26 祝福あれ、主の名によって来る人に || 私たちは主の家からあなたがたを祝福する
- 27 主こそ神、主が私たちを照らす || 祭壇の角のところまで枝を手に祭りの行列を組め
- 28 あなたは私の神。あなたに感謝します || わが神よ、あなたを崇めます
- 29 主に感謝せよ、主は恵み深く || その慈しみはとこしえに

## 使徒書・ヨハネの黙示録 1章4－8節

1:4 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、玉座の前におられる七つの霊から、5 また、真実な証人にして死者の中から最初に生まれた方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにあるように。私たちを愛し、その血によって罪から解放してくださった方に、6 私たちを御国の民とし、またご自分の父である神に仕える祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくありますように、アーメン。7 見よ、この方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見ることに、彼を突き刺した者たちは。地上の部族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。8 今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者である神、主がこう言われる。「私はアルファであり、オメガである。」

## 福音書 ヨハネによる福音書 20章19－31節

20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手と脇腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 誰の罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「私たちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して信じない。」26 八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「私の主、私の神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は、幸いである。」

30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなしたが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じて、イエスの名によって命を得るためである。